

第5回漁業特定技能協議会 (議事概要)

1. 日 時：令和5年11月10日(水) 14:30~16:00

2. 場 所：農林水産省8階水産庁中央会議室

3. 出席者：

【2号構成員】

一般社団法人大日本水産会	参与	木上正士 他3名
全国漁業協同組合連合会	漁政部次長	貴家 誠(WEB)
一般社団法人全国近海かつお・まぐろ漁業協会	代表専務理事	納富善裕
一般社団法人全国底曳網漁業連合会	業務課長	筆谷拓郎
一般社団法人全国いか釣り漁業協会	会長	中津達也(WEB)
一般社団法人日本定置漁業協会	専務理事	玉置泰司
全国かじき等流網漁業協議会	専務理事	犬束直哉(WEB)
全国さんま棒受網漁業協同組合	専務理事	大石浩平(WEB)
一般社団法人全日本持続的養鰻機構	日鰻連参事	吉富嗣希(WEB)
全国内水面漁業協同組合連合会	専務理事	中奥龍也(WEB)

【3号構成員】

全日本海員組合	水産局長	高橋健二 他2名
---------	------	----------

【4号構成員】

水産庁漁政部企画課	課長	河嶋正敏 他5名
水産庁増殖推進部栽培養殖課	内水面漁業振興室長	生駒 潔 他2名
	課長補佐	赤塚裕史朗
	課長補佐	松永啓志
出入国在留管理庁政策課	法務専門官	村口友美(WEB)
外務省領事局外国人課		市川恵一(WEB)
厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生課	課長補佐	山口久雄
	主査	芳賀健輔
国土交通省海事局船員政策課	専門官	青木尚子(WEB)

【5号構成員】

公益財団法人国際研修協力機構	支援第一課専門役	中村 淳(WEB)
----------------	----------	-----------

【事務局】

水産庁

一般社団法人大日本水産会

4. 議事要旨

議題 1. 特定技能制度の実施状況に関する情報共有（報告）

事務局より、資料 1 に基づいて、特定技能外国人の在留状況や漁業分野における有効求人倍率の状況、特定技能試験の実施状況等の特定技能制度に関する報告が行われた。

（質疑応答及び意見なし。）

議題 2. 特定技能 2 号について

事務局より、2 号特定技能外国人の受入れに係る実務経験証明書の様式（資料 2-1）とフロー図（資料 2-2）について報告が行われた。加えて、実務経験の範囲については、技能実習による経験は含まれない旨説明があり、承認された。

主な質疑応答は以下のとおり。

- ・ 実務経験証明書の様式に、特定技能 1 号としての在留開始日を記載する欄があると、2 号試験の手続きをするにあたり、どの程度余裕があるのか把握できるのではないか。
- ・ 証明書申請の必要書類として、パスポートの写し又は在留カードの写しのほか、船員手帳も追加してはどうか。

議題 3. 新たに 2 号構成員になろうとする者の構成員資格の確認

漁業特定技能協議会構成員資格取扱要領第 3 条の規定に基づき、（一社）全日本錦鯉振興会を 2 号構成員として協議会に加えるにあたっての審議が行われ、了承された。

（質疑応答及び意見なし。）

議題 4. 特定技能協議会漁業分科会・養殖業分科会の開催状況

事務局より、特定技能協議会漁業分科会・養殖業分科会の開催状況の報告が資料 4 に基づいて行われた。

（質疑応答及び意見なし。）

議題 5. 特定技能制度のパフレットの改正について

事務局より、水産庁 HP に掲載している漁業分野における特定技能制度パフレットの修正（案）が示された。

主な質疑応答は以下の通り。

- ・ 協議会加入申請の 4 カ月猶予規定については、撤廃に向け進んでいると聞いているが、パフレットの修正（案）には記載がある。この点

についてどのようになっているか教えてほしい。

→新パンフレット（案）は現行の規定に基づいて作成したもの。HP 掲載の際に規定が変われば、その旨反映される。パンフレットは、最新の情報となるよう随時更新する。

議題 6. その他

その他として、以下の報告があった。

- ・ 外国人材の安全対策についての周知依頼
- ・ 船員法の適用となる漁船員の受入れに関する情報
- ・ 2号技能測定試験の進捗状況についての情報

以上